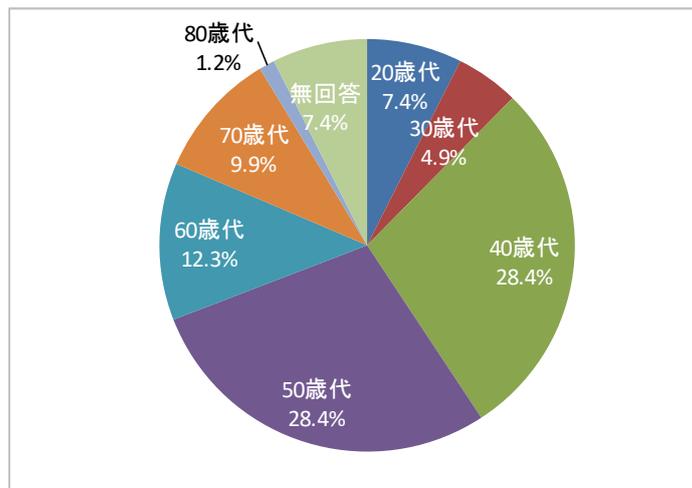


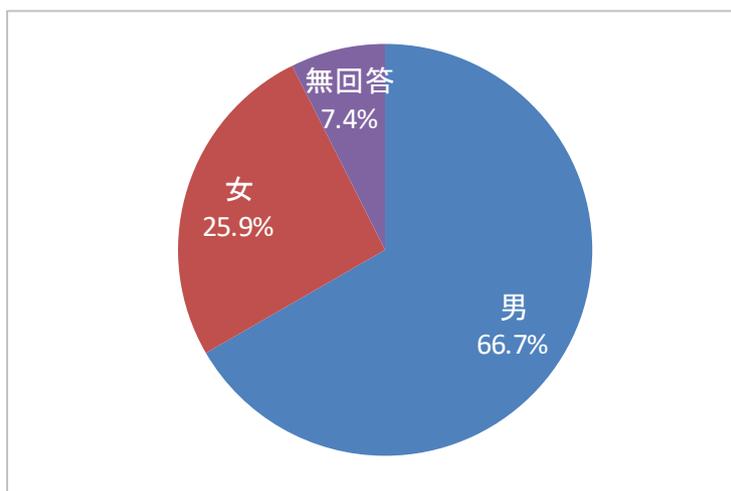
・平成31年2月3日に実施した「京都市地域まちづくりシンポジウム 京都がつむぐこれからのまちづくり」にて参加者アンケートを実施した（回答数81件）。

1 回答者の属性

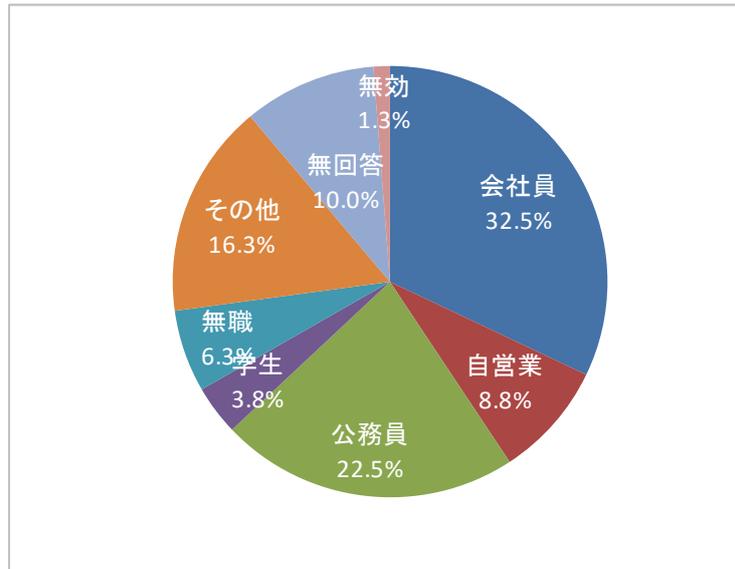
(年齢)



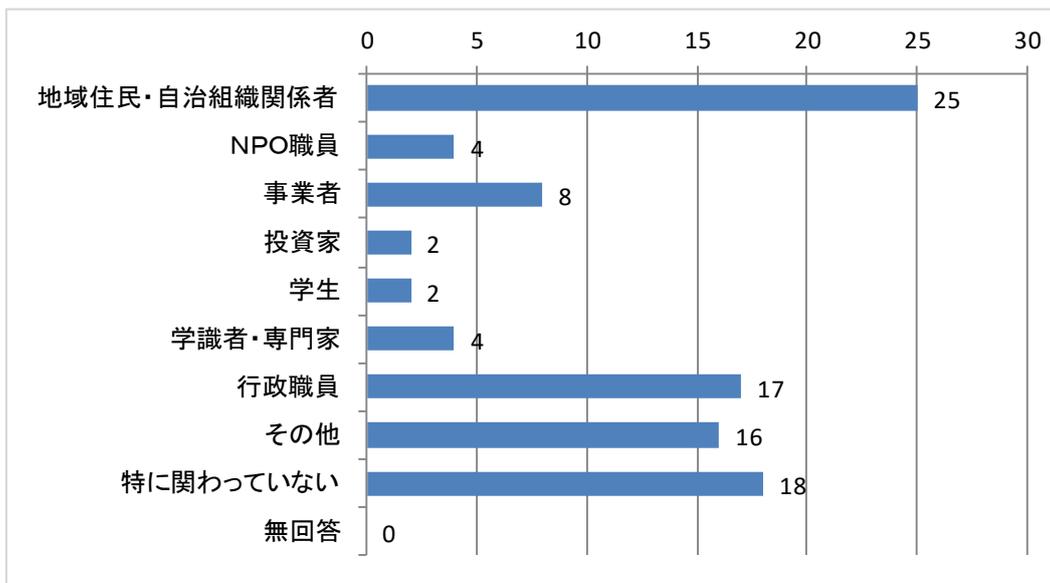
(性別)



(職業)



(まちづくりに関わる立場)

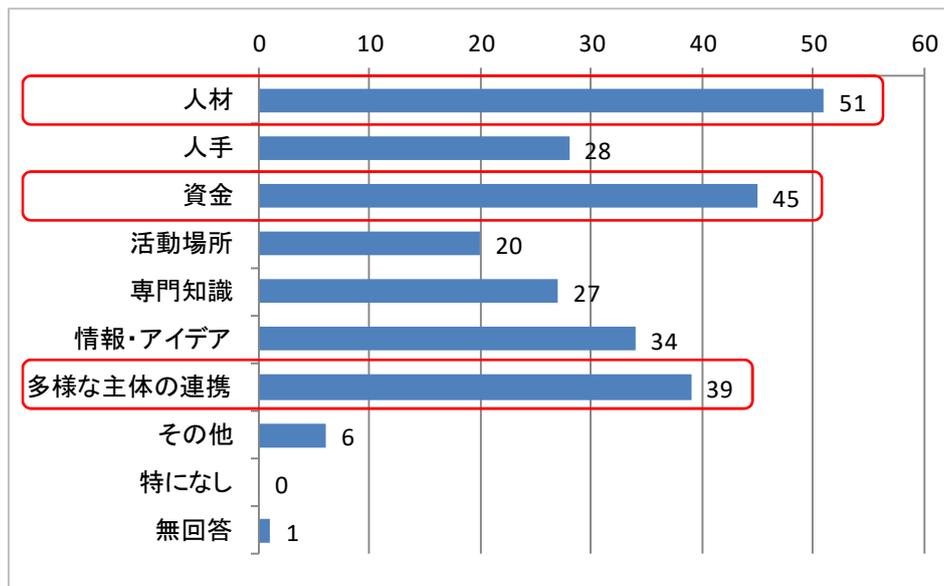


2 アンケート分析

(1) 地域まちづくりの課題

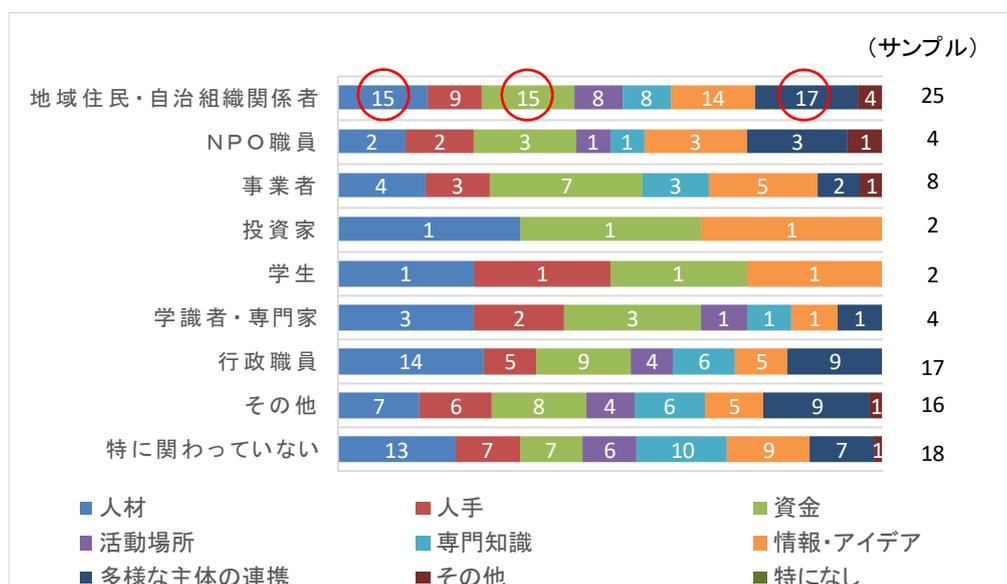
- ・感じている地域まちづくりの課題を見ると、「人材 (51 件)」が最も多く、次いで「資金 (45 件)」, 「多様な主体の連携 (39 件)」となっている。

(地域まちづくりの課題)



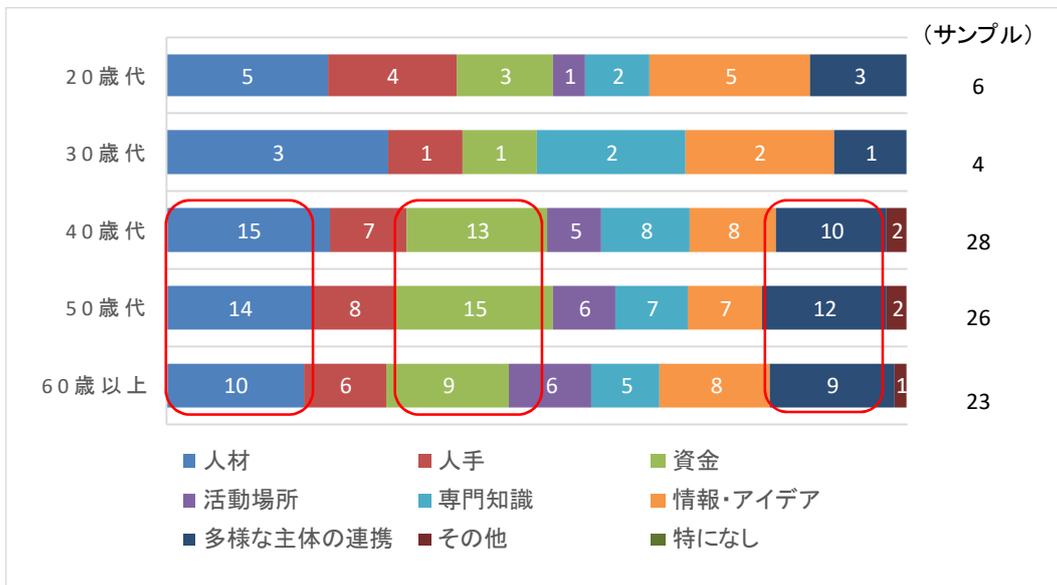
- ・まちづくりに関わる立場別に感じている地域まちづくりの課題を見ると、地域住民・自治組織関係者では、「多様な主体の連携 (17 件)」が最も多く、次いで「人材 (15 件)」, 「資金(15 件)」となっている。

(まちづくりに関わる立場別地域まちづくりの課題)



- ・年代別に感じている地域まちづくりの課題を見ると、回答数の多い40歳代以降の年代では、「人材」・「資金」・「多様な主体の連携」が多くなっている。

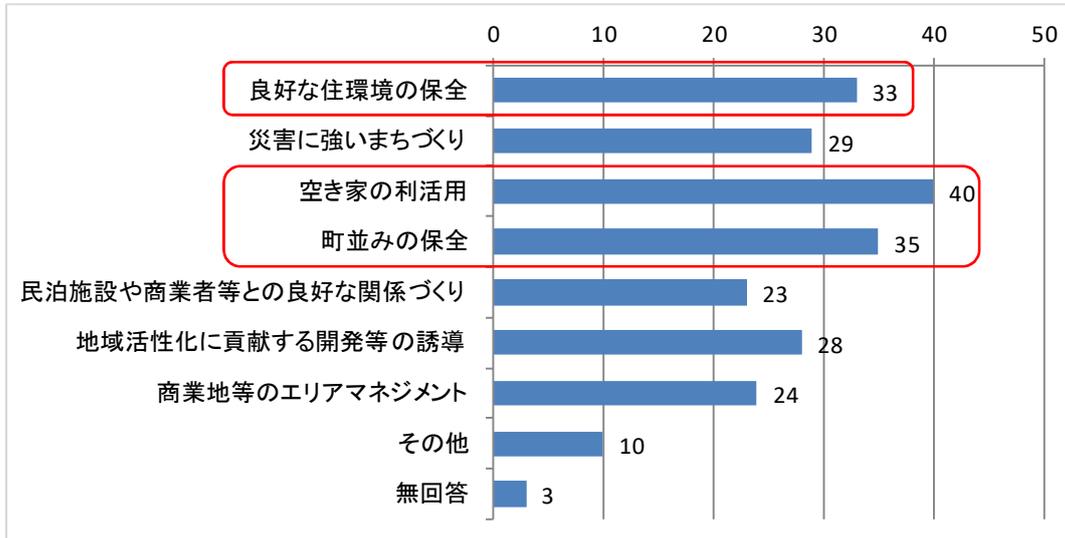
(年代別地域まちづくりの課題)



(2) 取り組むべき地域まちづくりのテーマ

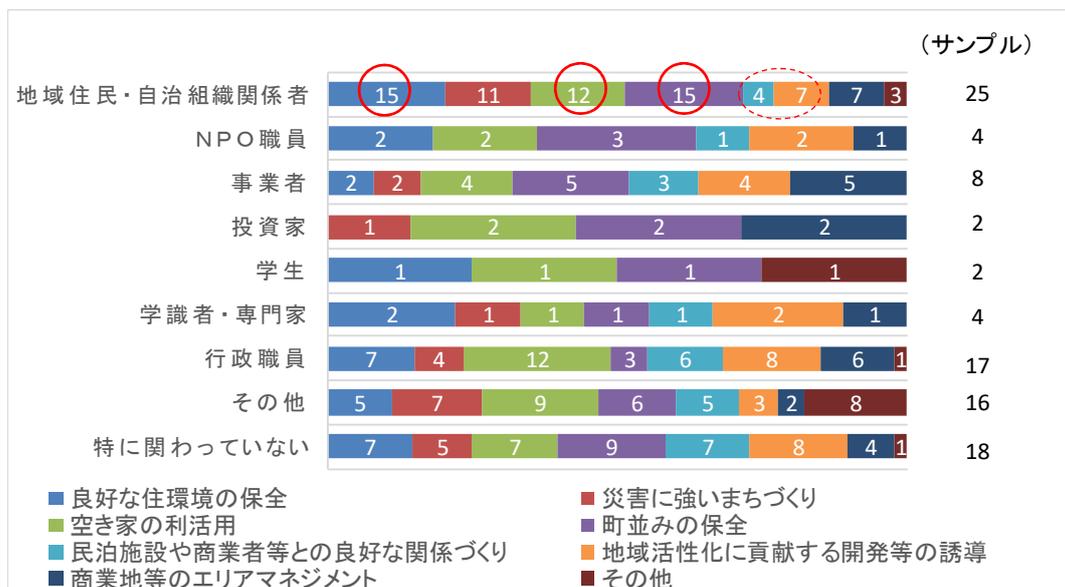
- ・取り組むべき地域まちづくりのテーマは、「空き家の利活用（40件）」が最も多く、次いで「町並みの保全（35件）」、「良好な住環境の保全（33件）」となっている。

(取り組むべき地域まちづくりのテーマ)



- ・まちづくりに関わる立場別の取り組むべき地域まちづくりのテーマを見ると、地域住民・自治組織関係者では、「良好な住環境の保全と町並みの保全（15件）」が最も多く、次いで「空き家の利活用（12件）」、「災害に強いまちづくり（11件）」となっている。
- ・地域住民・自治組織関係者では、現時点では、「民泊施設や事業者等との良好な関係づくり」・「地域活性化に貢献する開発等の誘導」の割合が他のカテゴリと比較して低い傾向にある。

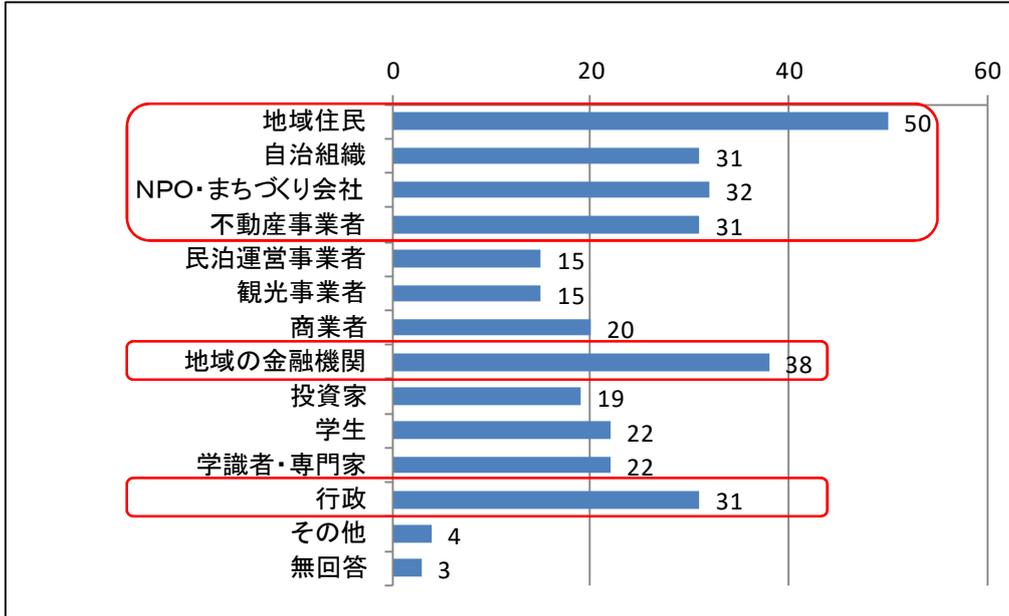
(まちづくりに関わる立場別取り組むべき地域まちづくりのテーマ)



(3) 今後、地域まちづくりで連携・期待したい主体

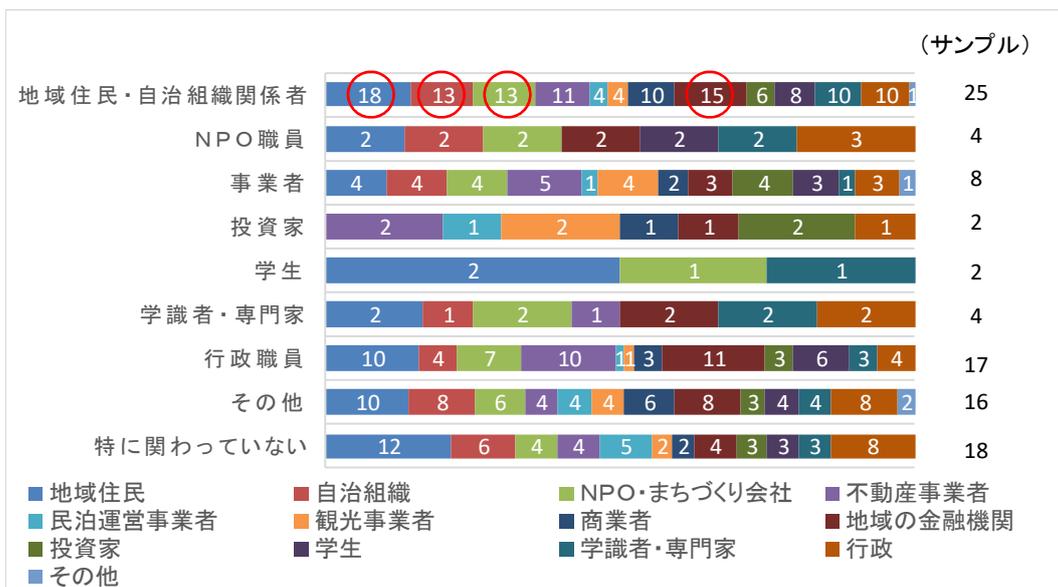
- 今後、地域まちづくりで連携・期待したい主体は、「地域住民 (50 件)」が最も多く、次いで「地域の金融機関(38 件)」、「NPO・まちづくり会社(31 件)」、「不動産事業者」・「自治組織」・「行政 (31 件)」となっている。

(連携・期待したい主体)



- まちづくりに関わる立場別に連携したい主体を見ると、地域住民・自治組織関係者では連携・期待したい主体は多岐に渡るが、「地域住民(18 件)」が最も多く、次いで「地域の金融機関(15 件)」、「自治組織」・「NPO・まちづくり会社 (13 件)」となっている。

(まちづくりに関わる立場別連携・期待したい主体)



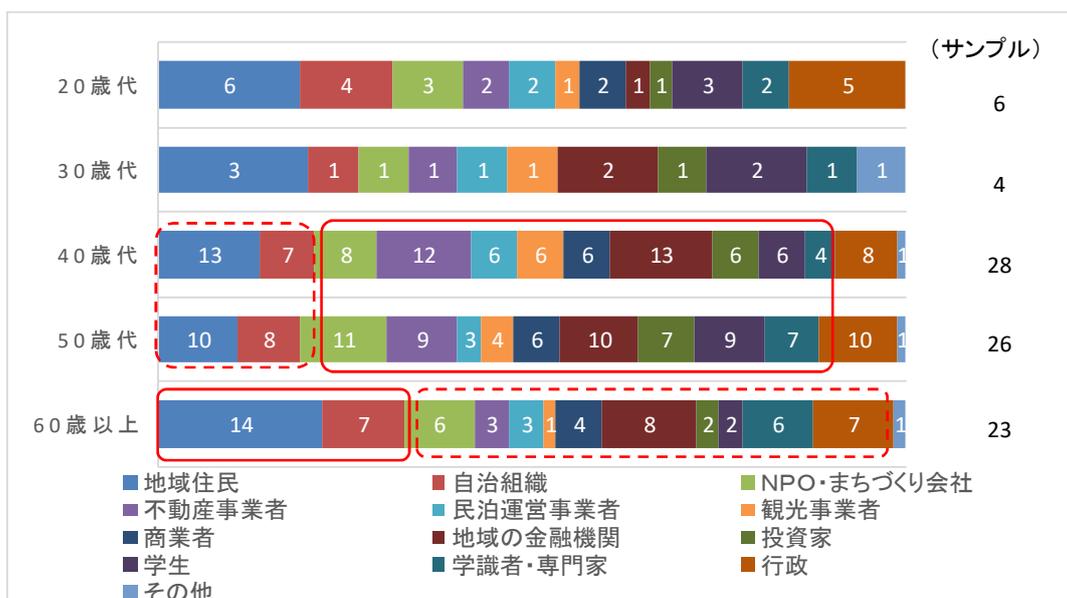
- ・取り組みたいまちづくりのテーマ別に連携・期待したい主体を見ると、「良好な住環境の保全」・「空き家の利活用」・「民泊施設や商業者との良好な関係づくり」では、「地域住民」や「自治組織」の割合が比較的高い。また、「空き家の利活用」と「民泊施設や商業者との良好な関係づくり」では、「民泊運営事業者」や「観光事業者」の割合も比較的高い。「商業地等のエリアマネジメント」では「地域の金融機関」・「投資家」の割合が比較的高い。

(取り組みたいまちづくりのテーマ別連携・期待したい主体)



- ・年代別に連携・期待したい主体を見ると、40代50代では、「地域住民」や「自治組織」の割合が低く、他の主体の割合が高い。一方で、60歳以上では、「地域住民」や「自治組織」の割合が高く、他の主体の割合が低い。

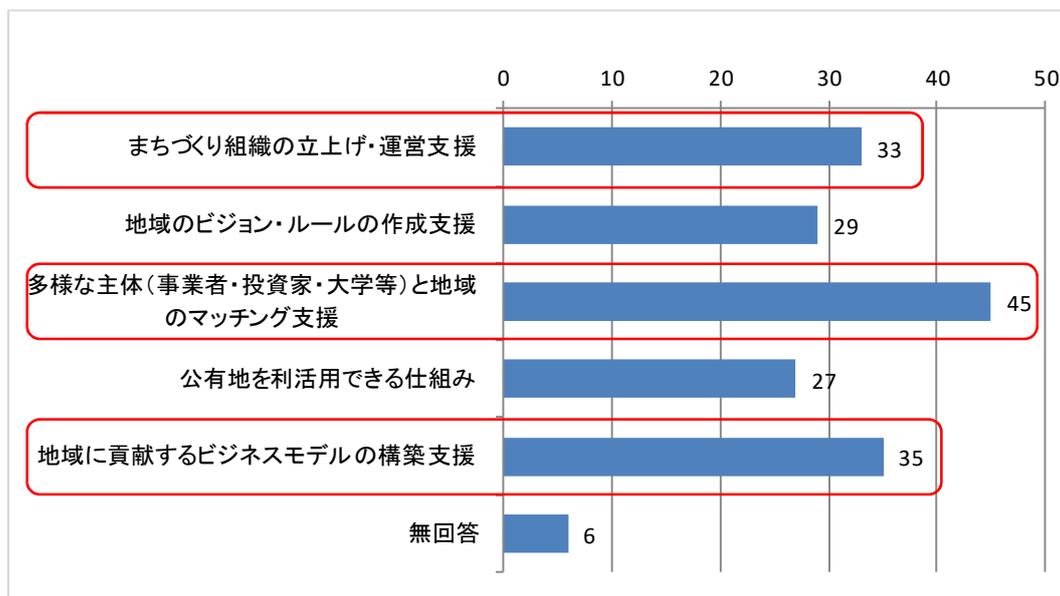
(年齢別連携・期待したい主体)



(4) 地域まちづくりを推進するために必要なツールやサポート

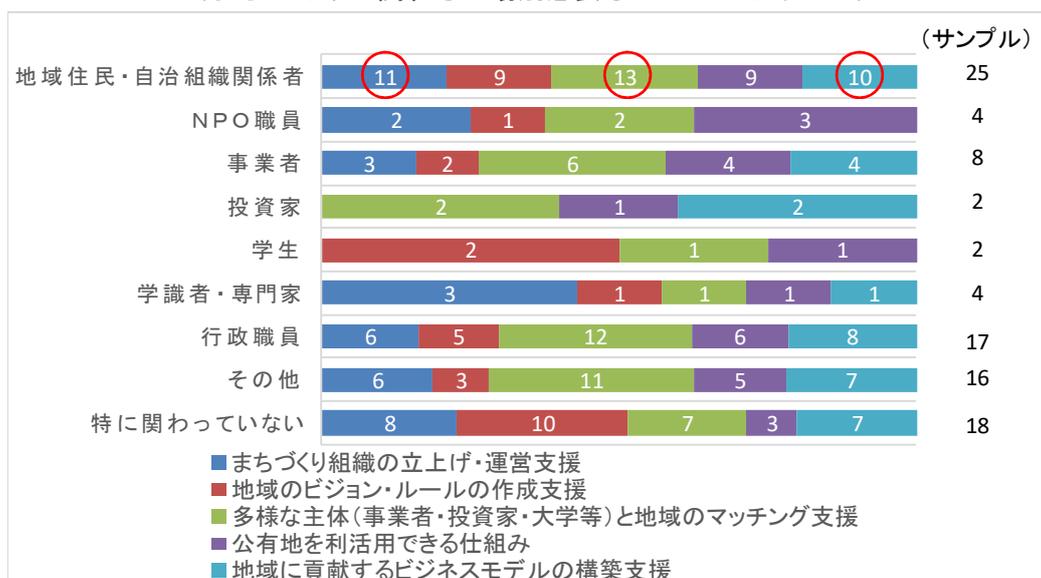
- ・地域まちづくりを推進するために必要なツールやサポートとしては、「多様な主体と地域のマッチング支援 (45 件)」が最も多く、次いで「地域に貢献するビジネスモデルの構築支援(35 件)」, 「まちづくり組織の立上げ・運営支援(33 件)」となっている。

(必要なツールやサポート)



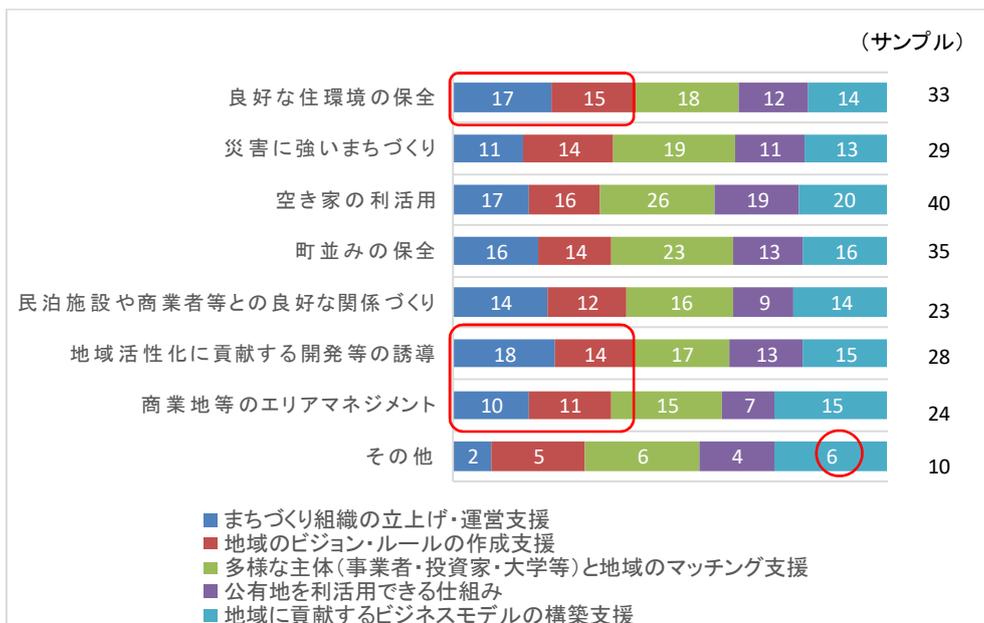
- ・まちづくりに関わる立場別に必要なツール・サポートを見ると、地域住民・自治組織関係者では「多様な主体と地域のマッチング支援 (13 件)」が最も多く、次いで「まちづくり組織の立上げ・運営支援(11 件)」, 「地域に貢献するビジネスモデルの構築支援(10 件)」となっている。

(まちづくりに関わる立場別必要なツールやサポート)



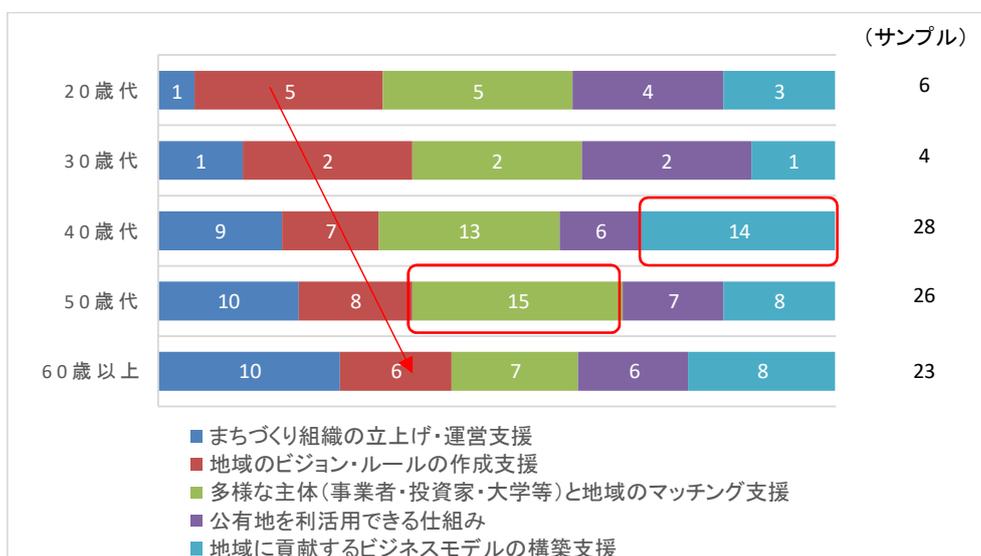
- ・取り組みたいまちづくりのテーマ別に必要なツール・サポートを見ると、「良好な住環境の保全・民泊施設」・「商業者等との良好な関係づくり」・「地域活性化に貢献する開発等の誘導」では、「まちづくり組織の立上げ・運営支援」や「地域のビジョン・ルールの作成支援」の割合が比較的高い。また、「商業地等のエリアマネジメント」では、「地域に貢献するビジネスモデルの構築支援」の割合が比較的高い傾向にある。

(取り組みたいテーマ別必要なツールやサポート)



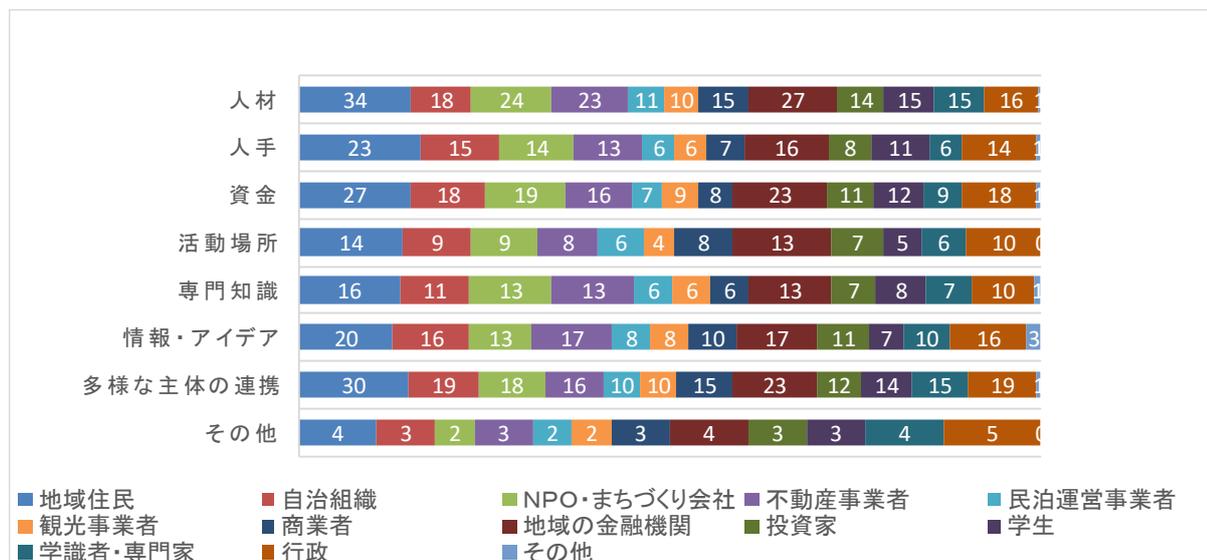
- ・年代別に必要なツール・サポートを見ると、年代が高くなるほど、「まちづくり組織の立上げ・運営支援」や「地域のビジョン・ルールの作成支援」の割合が高い。また、40代では「地域に貢献するビジネスモデルの構築支援」の割合が特に高く、50代では「多様な主体と地域のマッチング支援」の割合が特に高い。

(年代別必要なツールやサポート)

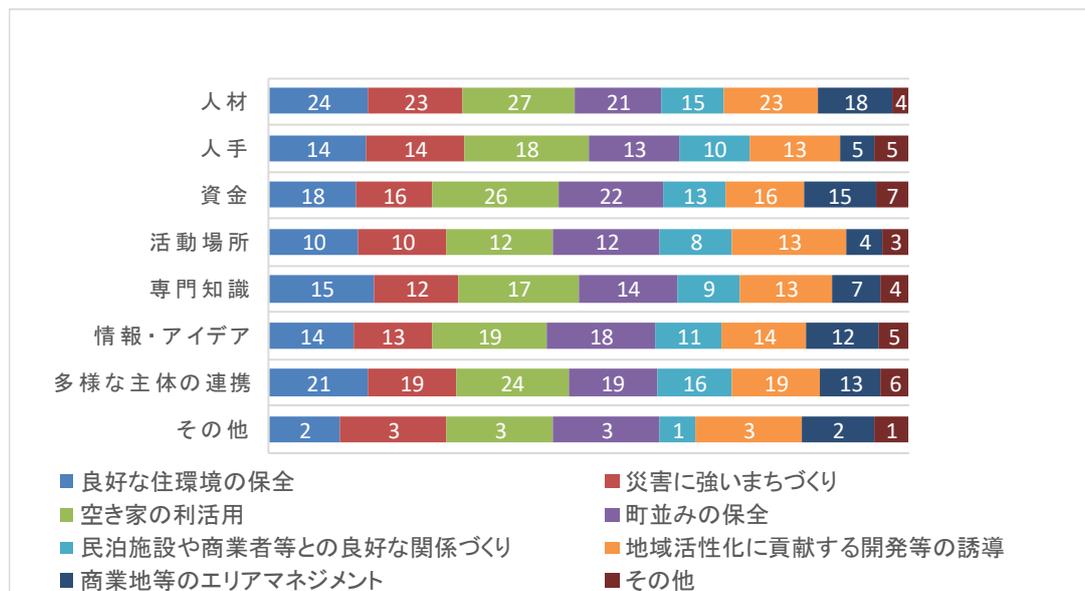


参考データ

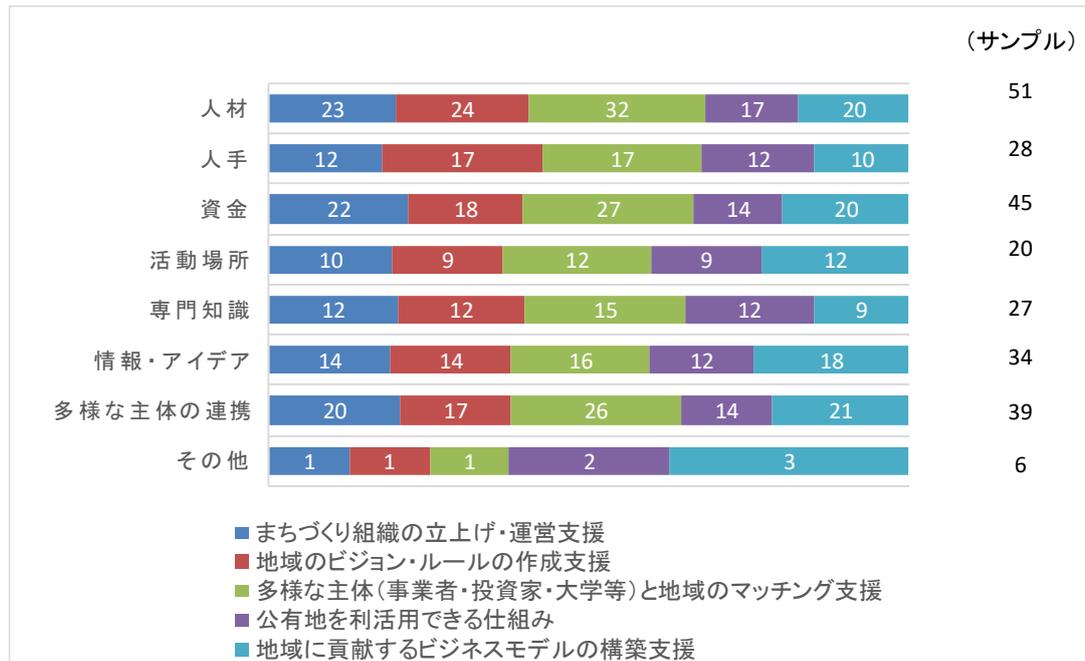
まちづくりの課題別今後期待したい主体



まちづくりの課題別取り組みたいテーマ

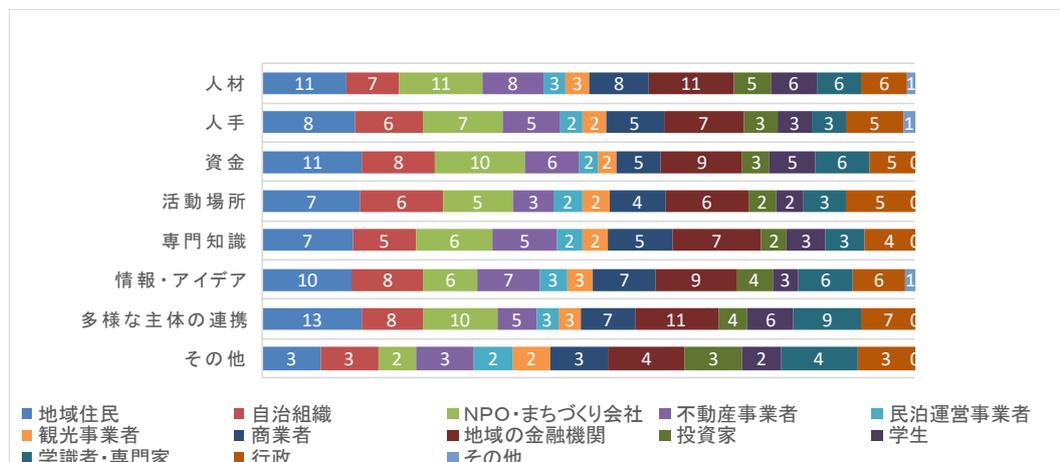


まちづくりの課題別必要だと思うツールやサポート

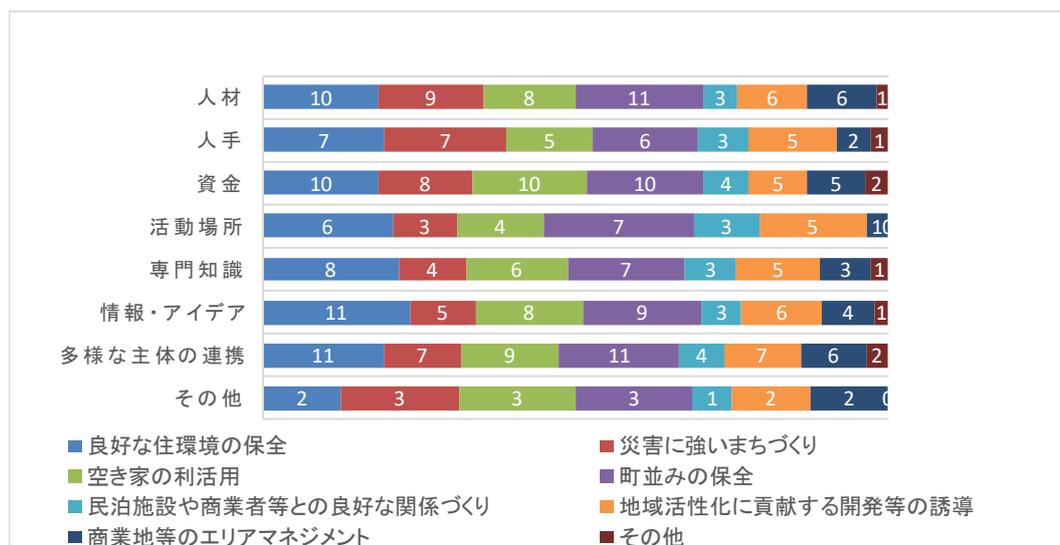


(特掲)地域住民・自治組織関係者の回答

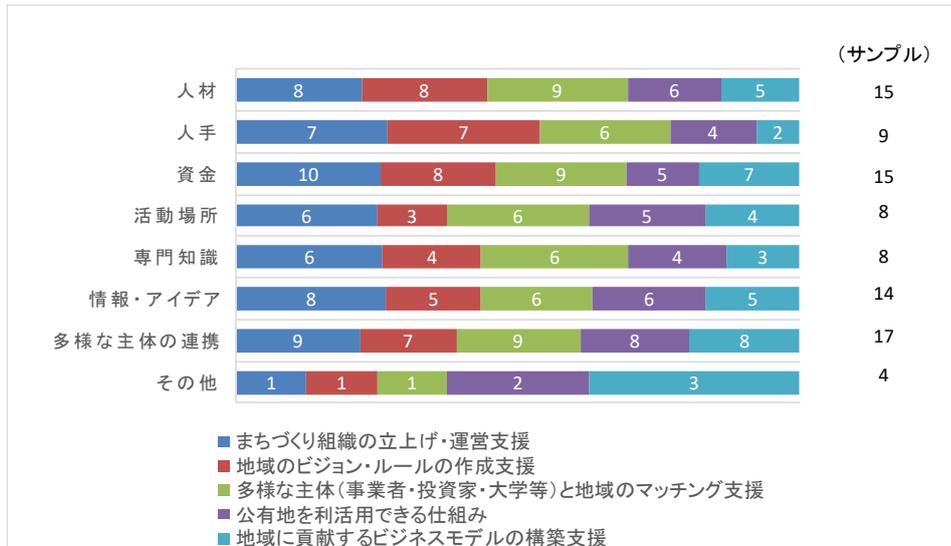
まちづくりの課題別今後期待したい主体



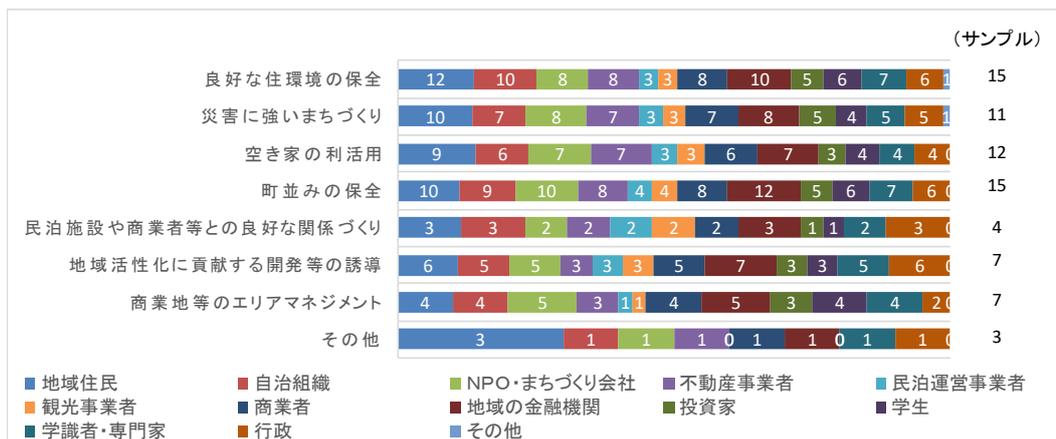
まちづくりの課題別取り組みたいテーマ



まちづくりの課題別必要だと思うツールやサポート



取り組みたいまちづくりのテーマ別連携したい主体



取り組みたいまちづくりのテーマ別求めるツールやサポート

